

横須賀市健康増進センター
プレゼンテーション

令和8年10月16日
株式会社東京アスレティッククラブ

（2）施設管理
施設課題に適切に対応し安全で快適な環境の確保

事業計画書
11～12 ページ

豊富な公共事業(PPP・PFI等)実績を有する経営体制

【応募団体】TAC 東京アスレティッククラブ の実績

企業概要
- 日本で初めて会員制総合スポーツクラブを開業
- 全国的に公共事業・民間事業を展開

PPP事業
- 全国24自治体・163施設の指定管理施設を管理運営
- 令和8年度より奈良県大和郡山市の指定管理事業を新たに開始

経営運営
- 2026年1月期の業績は過去最高売上5,444百万円を達成
- 専門性に優れた高い資質を有する社員が多数所属


本社
（東京都中野区）


【PPP事業】
茅ヶ崎市屋内温水プール


【PFI事業】
かみす防災アリーナ


【海外事業】
FITOKIO（マレーシア）

（2） 施設管理

施設課題に適切に対応し安全で快適な環境の確保

事業計画書
13 ページ

健康づくり企業としての運営の安定性

専門性の優れた高い資質を有する社員が多数所属

【所属社員の保有資格(主な資格)】

水泳指導管理士	上級スポーツ施設管理士	スポーツ施設管理士	スポーツ施設運営士	介護福祉士
パラスポーツ指導者	トレーニング指導士	上級水泳教師	水泳教師	保育士
プール衛生管理者	スポーツプログラマー	健康運動指導士	理学療法士	危険物取扱乙4種
管理栄養士	衛生管理者	幼稚園教諭	中・高等学校教諭１種免許（保健体育）	防災士

各種公的認証等を受ける安心安全な管理運営手法

厚生労働大臣認定
健康増進施設





たいせつにします プライバシー
17000157(10)

TOKYO
東京都スポーツ推進企業
2025認定

（1） 法令遵守

個人情報の保護措置について

事業計画書
3～4ページ

プライバシーマーク制度に準拠した保護体制

組織的

- ○ 個人情報保護規程・マニュアルを整備
- ○ 取扱一覧表による管理手法の明確化
- ○ 個人情報漏洩保険の加入
- ○ 定期的な監査
- ○ 守秘義務契約の締結 など

技術的

- ○ 各種データのアクセス制限
- ○ 管理データの一元化
- ○ メール誤送信防止システムを導入
- ○ リムーバブルディスク等の取扱禁止
- ○ パソコンのセキュリティ設定 など

物理的

- ○ 適正な文書管理(キャビネットの活用等)
- ○ パーテーション等による漏えい防止
- ○ 厳重な入退室管理
- ○ 施設の施錠を徹底
- ○ データ削除及び機器等の廃棄 など

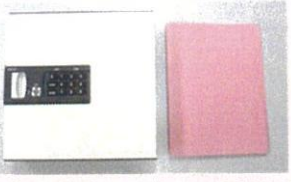
人的

- ○ 個人情報管理責任者を選任
- ○ 個人情報保護研修を実施
- ○ 個人情報、機密情報への意識徹底
- ○ ダブルチェックによる適正管理
- ○ 私用携帯等の使用制限 など

□ 適正な文書・データ管理・保管・処理


鍵付キャビネット


鍵付きレターケース


パスワード式キーボックスと管理台帳


破棄・処分

施設課題に適切に対応し安全で快適な環境の確保

事業計画書
10 ページ

本業務を円滑に遂行する業務管理体制

横須賀市
Yokosuka City

パートナーシップ

連絡会議（市と指定管理者間で実施）

TAC
株式会社東京アスレティッククラブ

運営委員会
（社内で毎月開催）

当団体本社等によるバックアップ体制

総務担当	人事担当	経理担当	システム担当	維持管理担当	運営・事業担当
協定書関係	職員雇用	銀行口座開設	会員システム管理	緊急時対応	年度計画書作成
個人情報保護	職員研修	帳票書類	ネット回線管理	現場管理・指導	広報媒体作成
消防計画	勤怠管理	日計・月計管理	ホームページ管理	業務品質確認	備蓄品等手配
補償保険契約	労働に係る届出	各種支払い	電子媒体管理	技術的支援	備品・消耗品手配

仕様書等に基づいた施設管理の基本方針

事業計画書
6～7 ページ

横須賀市の現状・課題を理解した施設運営

変化を力に進むまち。
YOKOSUKA VISION 2030
横須賀市基本構想・基本計画

健康推進プランよこすか

理念
- 健康がすぐそばにあるまち
- 健康寿命の延伸を健康格差の縮小

基本方針

個人の行動と健康状態の改善	持続可能な社会の実現	将来を見据えた健康づくり

計画
- 健康増進計画
- 食育推進計画
- 歯及び口腔の健康づくり推進計画

関連計画
- 国民健康保険データヘルス計画
- がん対策推進計画
- 子ども未来プラン
- 教育振興基本計画
- 高齢者保健推進計画
- 自殺対策推進計画
- 男女共同参画プラン
- スポーツ推進計画
- 食品衛生監視指導計画
- 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画

［ 健康増進センターを運営するにあたっての基本理念 ］

健康増進と交流を通して持続可能な施設の実現に貢献

［ 基本方針 ］

基本方針 -1-

「地域」に根差した「健康増進」「交流拠点」の施設づくり

- すべての市民の自主的かつ継続的な運動・スポーツ活動・健康への活動を支援します
- 運動・スポーツによる「人と人がつながる施設」の実現を目指し、多様な事業を展開し、地域に根差した管理運営を行います

基本方針 -2-

誰もが「安心安全」「快適」に利用できる施設づくり

- 時流に合ったリスク管理を徹底し、誰もが安心・安全・快適に利用できる施設づくりに邁進します

基本方針 -3-

「市民サービス」を高め、「収益確保」と「経費縮減」を実現

- 真のサスティナブル（持続的）な管理運営として、市民サービスの維持向上による収入確保とともに、管理運営経費を縮減し、持続可能な施設の管理運営を目指します。

基本方針に対する取り組み

基本方針1 「地域」に根差した「健康増進」「交流拠点」の施設づくり

基本方針1に対する取り組み

●運動・スポーツの楽しさ・意義への気づきの促進／きっかけづくり／活動の場と機会の提供
●運動・スポーツによる「人と人がつながる施設」の実現に向け、多様な事業を展開

基本方針2 誰もが「安全安心」・「快適」に利用できる施設づくり

基本方針2に対する取り組み

●リスク管理を徹底し、誰もが安心・安全・快適に利用できる施設づくりに邁進

基本方針3 「市民サービス」を高め、「収益確保」と「経費縮減」を実現

基本方針3に対する取り組み

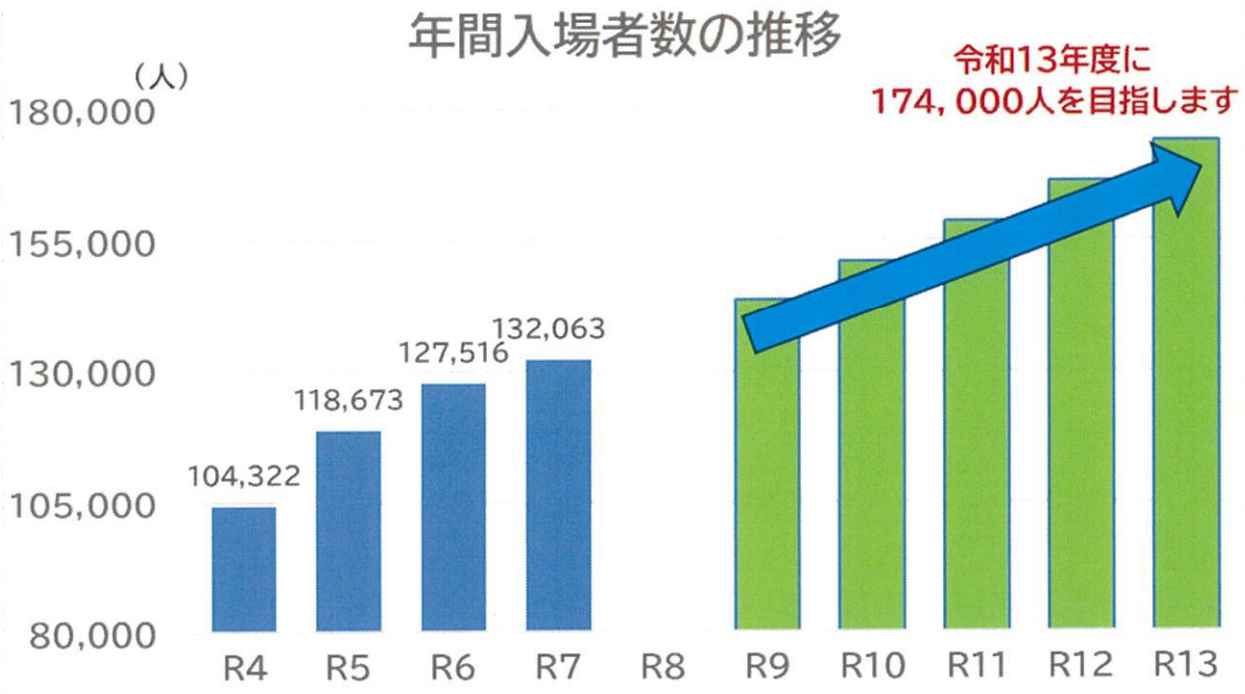
●市民サービスの維持向上による収入確保、管理運営経費を縮減

それぞれの基本方針に対する具体的な実施策を講じます

年間入場者数の目標

事業計画書
8ページ

目標年間入場者数　174,000人を目指します



利用者の公平性・平等性の確保

事業計画書
15～16 ページ

ユニバーサルデザインを意識した施設運営

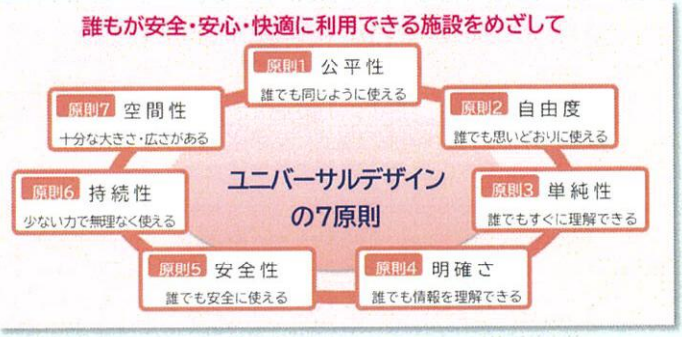
平等利用に対する私たちの考え

子どもから高齢者、障害者、多様な性自認・性的指向について、正しい理解を深め、
だれ一人取り残さない多様性と包摂性のある施設運営を実現します

1 ダイバーシティとインクルージョンを実現
2 すべての市民に開かれた公共サービスを提供
3 一元的な対応を自治体とともに対応

平等利用に向けた取り組み

» 関係法令・募集要項・仕様書等を遵守
» ユニバーサルデザイン7原則を意識
» 館内案内図・絵記号を整備
» 高齢者・障害者への配慮
» 格差に配慮した情報提供
» 多様性を理解した対応　など



的確に利用者ニーズ・要望を把握

要望を的確に捉える3つの目線

鳥の目
全体を見回して施設のあり方を捉える

全体を見る
- 自治体の施策
- 関係機関の研究

魚の目
時代の流れと社会的ニーズを捉える

流れを見る
- 時代のトレンド
- 社会のニーズ

虫の目
絞り込んでニーズを捉える

細部を見る
- 利用者の意見
- 市民の意見

利用者アンケート



ご意見箱



お問い合わせフォーム



日頃からのコミュニケーション



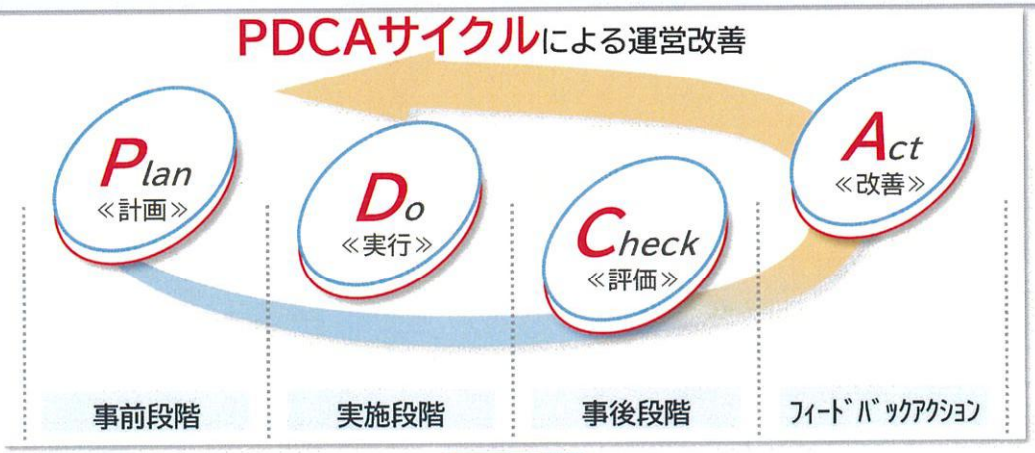
多角的なモニタリングによる利用者本位の運営を実現

利用者評価
利用者要望を調査して、施設の運営に反映

行政評価
市の監査等による、改善指示があった際の改善策

自己評価
指定管理者内部による、業務履行状況等の評価

PDCAサイクルによる運営改善



多角的なモニタリングを受け改善策をスピーディに実行

利用者本位の運営を実現

障害者の利用支援に向けた方策

障害者のスポーツ施設利用促進マニュアルにならった施設整備及び研修



障害をもった利用者に快適な施設環境の整備



パラスポーツ・インクルーシブスポーツイベントの実施



障害者就労施設等の事業協力

①事務用品の購入
②定期的な自主製品等の販売会の開催
③自主製品商品カタログの掲示
④運動・健康指導等の出張教室の実施

男女共同参画の推進・多様な性を理解した対応

① ダイバーシティ推進委員会を立ち上げ、女性活躍の推進
② 「人権研修」「ハラスメント研修」「LGBTQ研修」等による
意識改革と多様性に対する理解促進
③ 出産・子育て環境や介護者支援の充実によるワークライフバランスの推進



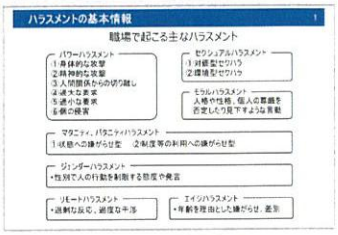
SDGsをベースとした年齢・性別・障害等を問わない公共サービス



利用者や職員を守るハラスメント対策

従業員への各種ハラスメント（セクシャル・パワー・モラルハラスメント等）についての研修実施





利用者からのハラスメント（カスタマーハラスメント）の抑止対策





危機管理基本計画による確固たる危機管理

（1） 計画の基本的な考え方

災害等の危機に対して、利用者並びに職員の生命及び身体を保護することを目的とし、総合的かつ具体的な計画の構築を図り、突発的な危機の発生等に対して、迅速・適切・的確に対応する

（2） 危機管理対策の構築

① 事前対策
- マニュアル整備
- 被害の防止、軽減対策　など

② 緊急時対策
- マニュアルに則った対応
- バックアップ支援　など

③ 事後対策
- 再発防止策の検討
- 報告書作成、提出　など


避難所運営協力


施設補修


巡回点検


危機管理研修

「防災士」資格保有者が危機管理体制を整備

当団体に所属する、日本防災士機構認証「**防災士**」が、
災害等における被害最小に向けた対応体制を整備します



防災士証

事業計画書
23ページ

万全の防災・安全対策を実施

要因	平常時の対策	
災害	・災害時受援体制ガイドラインを作成 ・災害対応マニュアルを作成 ・消防計画を作成 ・避難経路図を掲示 ・各種緊急備品を整備 等	 
事故	・事故対応マニュアルを作成 ・備品等の整備と保守管理を実施 ・AEDを設置 ・セルフチェックを啓発 ・熱中症への対策 等	 
事件	・事件対応マニュアルを作成 ・施設内巡回を実施 ・防犯備品を導入 ・犯罪被害の注意喚起を実施 等	  
火災	・防火管理者を選任 ・消防計画の作成 ・自衛消防隊の編成 ・定期的な防火備品チェック 等	 
共通	・危機管理に関する研修を実施 ・緊急連絡網を作成 ・ヒヤリハット事例集を作成 ・各種保険に加入 等	

事業計画書
52～54ページ

徹底した安全管理により安心なプール利用を実現

プール管理の基本方針

- 方針1　プール管理体制の整備
- 方針2　日常点検と水質管理の徹底
- 方針3　事故の未然防止と緊急時の対応
- 方針4　監視員の教育・訓練の実施
- 方針5　安全に関する情報提供

具体的な取り組み

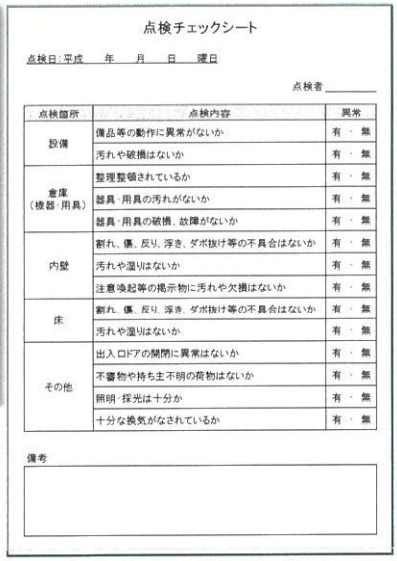
- ◆プール管理運営マニュアルの策定
- ◆徹底された監視体制の構築
- ◆監視員を対象とした研修の実施
- ◆日常点な点検の実施
- ◆水質管理と指揮命令系統の確立
- ◆利用者に向けた安全利用の啓蒙

快適で安全なトレーニング・運動環境を提供

具体的な取り組み

◆点検チェックシートを活用した日常点検の実施
◆トレーニングマシン別の安全管理の実施
◆WSキーやトレーニング室利用者カードを
活用した個々に合わせた安全なトレーニングの提供
◆快適な室温・湿度の管理（熱中症予防）
◆利用者への運動前後の体重・血圧・体脂肪等の測定啓発
◆AI搭載の防犯カメラによる異常検知投等の早期発見



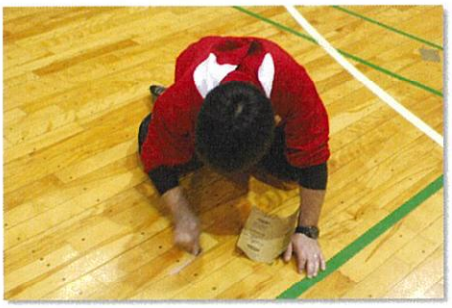
点検チェックシート

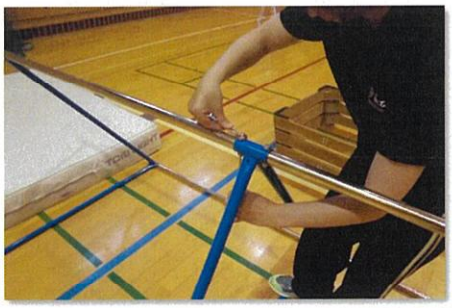
点検日：平成　年　月　日　曜日

点検者＿＿＿＿

点検箇所	点検内容	異常
設備	備品等の動作に異常がないか	有・無
	汚れや破損はないか	有・無
倉庫（機器・用具）	整理整頓されているか	有・無
	器具・用具の汚れがないか	有・無
	器具・用具の破損、故障がないか	有・無
内壁	割れ、傷、反り、浮き、ダボ抜け等の不具合はないか	有・無
	汚れや湿りはないか	有・無
	注意喚起等の掲示物に汚れや欠損はないか	有・無
床	割れ、傷、反り、浮き、ダボ抜け等の不具合はないか	有・無
	汚れや湿りはないか	有・無
その他	出入口ドアの開閉に異常はないか	有・無
	不審物や持ち主不明の荷物はないか	有・無
	照明・採光は十分か	有・無
	十分な換気がなされているか	有・無

備考





地域団体との連携構築・強化した取り組み

地域貢献の取り組み

◆積極的な地元人材の雇用
◆市内中小企業への優先発注
◆積極的なアウトリーチ活動
◆職場体験やインターンシップの受け入れ
◆市民や利用者を交えたクリーンウォーク
◆地域ボランティア活動への協力
◆市内スポーツイベントへの協力
◆市民や利用者を交えた施設合同の
防災訓練
◆安全・安心まちづくり推進連絡協議会と
連携した防犯活動

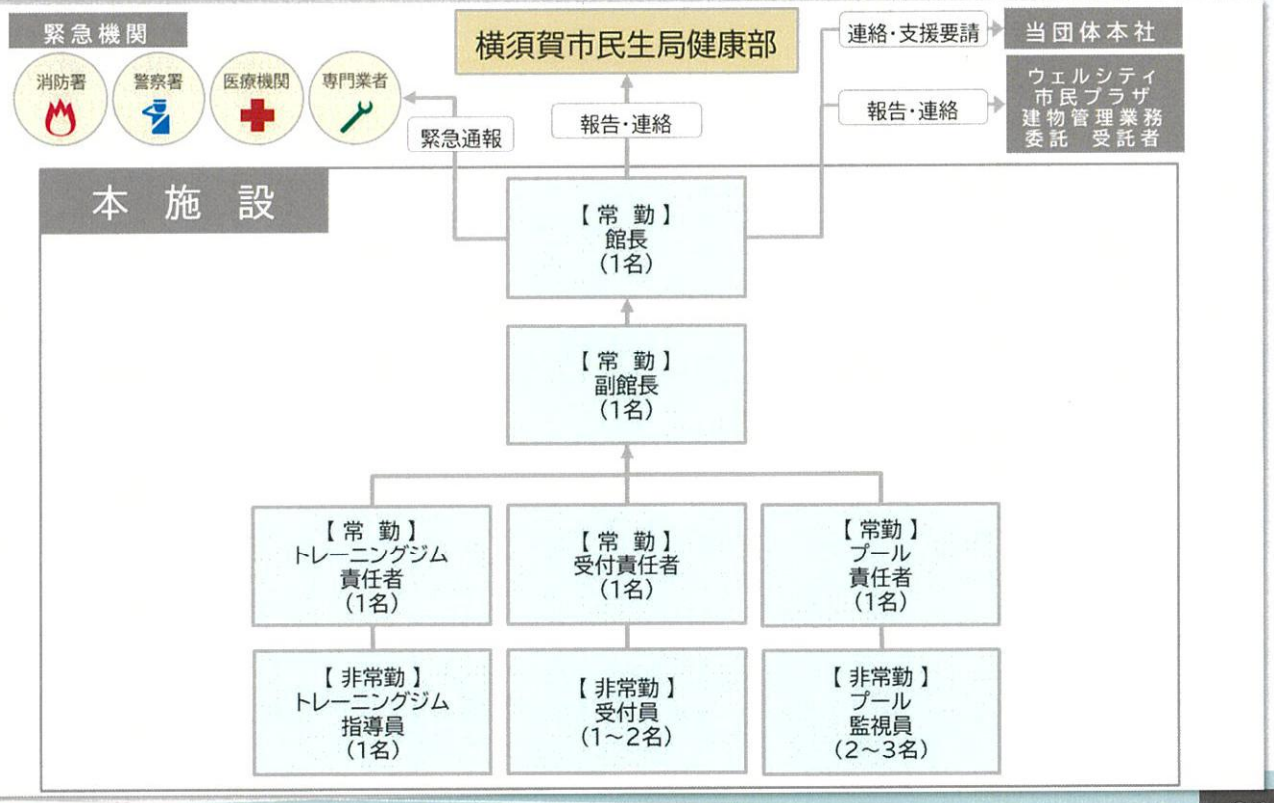


（7） 人員体制

職員の適正な配置について

事業計画書
42ページ

各セクションの専門職員が効率的・効果的な業務を遂行



（7） 人員体制

必要人材の確保について

事業計画書
45～46ページ

人材の多様性を活かし、地域に活力と魅力を広げる施設へ

人材の採用・確保 コンセプトマップ



障害者雇用
障害者雇用の促進



地域雇用
地域住民の雇用の創出



高齢者雇用
高齢者が率先して働く社会



現職員雇用
管理運営の安定

多様な「ワーク・ライフ・バランス」を実現／
雇用形態に関わらない公正な待遇／能力を伸ばす各種研修プログラム

人材の多様性を生かし、地域に活力と魅力を広げる施設へ

（7） 人員体制

人材の育成について

事業計画書
60～62ページ

計画的な研修により、職員の資質を向上

	業務内容	回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営	公共事業研修	年１回			●									
	クレド・接遇教育	年１回			●									
	人権研修	年１回			●									
	障害者等対応研修	年１回			●									
	個人情報保護研修	年１回			●									
	LGBTQ 研修	年１回			●									
事業	導入研修	随　時	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	OJT 研修	随　時	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	指導力アップ研修	年２回						●						●
	公的資格の取得促進	随　時	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
危機管理	避難誘導訓練	年２回						●						●
	消防訓練	年２回						●						●
	救護訓練	年１回						●						
	防犯訓練	年１回						●						
	プール監視研修	年２回			●						●			
	水上安全法研修	年２回			●						●			

（9） 独自基準（各設備を活用した健康づくり）

会員管理システム/トレーニングジムによる健康づくり

事業計画書
56～59ページ

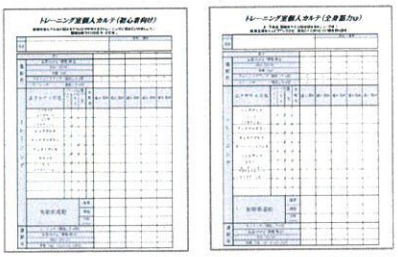
施設設備を十二分に活用し市民の健康づくりをサポート

会員管理システム



◆健康登録カードの活用による健康チェック
◆個々に合わせた指導・接客対応
◆収集した統計データによる効果的なイベント教室等の実施

トレーニングジム



◆指導員の常時配置による効果的なトレーニング指導
◆初回利用者指導の常時開催
◆利用者の目的に合わせたトレーニングメニュー提供
◆健康相談業務の随時実施
◆体組成計「InBody」・「LookinBody Web」による
　個々の運動能力・健康状態の見える化
◆パーソナルレッスンの実施
◆音波刺激全身運動マシン「SONIX」の新規導入

